

火災報知器で大麻発見！？ - 西日本防災システム

2012 12 23

大阪府豊中市内のワンルームマンションで12月1日、火災報知機が作動し、無人の室内から栽培中の大麻草が大量に見つかったことがわかりました。

大麻草の栽培には照明や空調などで大量の電気を使うため、電線が過熱するなどして火災報知機が作動したようです。大阪府警は、大麻取締法違反(営利目的栽培)容疑で捜査しています。

捜査関係者によりますと、大麻草が発見されたのは同市北部のマンションです。12月1日午前0時10分頃、火災報知機が作動し、マンション関係者が不審な鉢植え植物を見つけ、警察と消防に通報しました。火災は発生しておらず、消火活動は行われませんでした。捜査員が調べたところ、植物は大麻草でした。別の部屋でも栽培中の大麻草が見つかり、計数十株が押収されたようです。水耕栽培で、照明器具が整えられていましたが、どの部屋もその場に住人はおらず、府警は所在の確認を進めているそうです。

ですが ほんとの火災にならなくて良かったですね！
自動火災報知設備のお陰でした！！



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 